

A PET IS FOR LIFE

運命の回り道 バリ物語

ルイズ・ハンセン

バリとその小さな妹
のことを考えると、今

でも私の心は痛みます。ある日、私の飼ひ犬ゴンチャン（以前私が救った迷い犬）と散歩していると、池へ続く斜面で2匹の子犬が遊んでいました。大きい方の犬は何か訴えることがあるかのように、私の目をまっすぐ見ていました。私は少しいぶかしく思いました。なぜなら、迷い犬や捨てられた動物はほいていの場合、人を見ると逃げ出すからです。私は側へ寄って驚かすのもうかと思つたので、ゴンチャンをひもでつなぎ、その場をよけて通りました。私は生きてゐる限り、この時の「回り道」を忘れないでしょう。翌朝、私はこの2匹の犬のことを思い出して、

実際にはいていました。」と懐かしううでした。

（注）糞そうりを作る糞は特別に丈の長いもち米の糞を使います。

東谷コミュニティ青少年部会

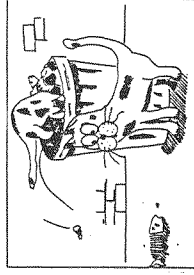
様子を見に行きました。小さい方の犬は首に糞のようなものを巻きつけて死んでいました。凍死でした。もう1匹の犬「バリ」（後でそう呼ぶことにしたのですが）はどこに行つたのか姿が見えませんでした。

1週間後、私は近所に住む宣教師と出会いました。私は彼女に「死にかけていた犬を見つけました。引き取ってもらえませんか」と頼まれました。その時、彼女が「バリを見つけたのだ」と直感しました。そしてバリの母親（コリ1種）が市の野犬獲りにあって、毒殺されたことを知りました。だから2匹の犬は「孤児」として残され、自分の力で生きていくしかなかったのです。

当然のことながら、私はバリを引き取りました。バリはそれまでに味わつた辛い体験から立ち直るのに長い時間がかかりました。多分バリは私が救つた犬の中で「最愛の犬」になるでしょう。彼は元気な間、飼ひ主の家とゴンチャンを勇敢に守り続けました。

私は彼の苦勞、苦痛をできるだけ少なくするよう努めました。彼がガンにかつた時は、6カ月間

獣医のところに通いました。そして死んだときには、その重い身体を六甲山へ運んで埋めました。ゴンチャンは黙って見ていましたが埋め終わつた後狂つたように振り出しそうとしました。私はゴンチャンをその場からむりやり連れ去らねばなりません。バリは今ずっと、住み良い世界で、母親と妹と一緒にいます。（エリザベス・オリバー）



新入社員紹介

川西山下営業所 中野悟美

皆さん、初めまして。

十月から、川西山下営業所で、お世話になっております中野と申します。今までの仕事とは、時間帯も違うため、朝早く起きるのは大変つらい毎日です。

また、不慣れで、お客様に御迷惑をおかけする事もあると思ひますが、お役に立てるよう、一生懸命頑張りますので、末長くお願